

オーガナイズドセッション「地域空間情報」

日時：12月5日(木) 10:00 ～ 12:20 会場：308 会議室  
司会：中澤公伯（日本大学），山田悟史（立命館大学） 記録：藤井健史（立命館大学）  
コメント：瀧澤重志(大阪市立大学)  
企画：情報システム技術委員会 地域空間情報モデリング小委員会

主旨説明

大内宏友(日本大学)

研究発表

01. 防災・救急医療システムにおけるドクターヘリと救急車両との連携による医療圏域の構築に関する実証的研究  
牧野内信(日本大学), 手島優, 木村敏浩, 大内宏友
02. 歴史的都市鎌倉における地域環境と地域住民の景観認知との経年的な関係性について－3D可視化モデル及び航空写真を用いたフラクタル解析による分析手法の検討－  
木村敏浩(株式会社アーキテクトセオリー), 新谷伸高, 大内宏友
03. 北京市市街地緑被調査手法とPM2.5減衰効果の考察  
佐藤充(パスコチャイナ、中国GIS産業協会)
04. ドクターヘリ及びドクターカー運用効果の可視化に関する研究－短縮時間・救命率向上率と人口を用いた運用効果の検証－  
大山智基(立命館大学), 吉川優矢, 山田悟史, 大内宏友, 及川清昭
05. 衛星写真の画像処理とGISを用いた津波被害の分析手法に関する研究－被災家屋数と推計被災者数の把握の迅速化－  
窪園翔治(立命館大学), 山田悟史
06. GISを用いた津波避難計画の避難時間の可視化と関連施設の配置計画  
吉川優矢(立命館大学), 大山智基, 山田悟史, 石井政雄
07. GISとBIMの連携による景観形成に関する研究  
藤澤範好(日本大学), 宮崎隆昌, 中澤公伯